

令和4年度第3回区政会議における防災に関する意見要旨

1 日 時 令和4年12月6日（火）午後6時30分から午後8時35分

2 場 所 住吉区役所 4階 大会議室

3 出席者

（委 員）辻野議長、渡邊副議長、桶土井委員、鍛冶本委員、繁田委員、島谷委員、
菅原委員、田中委員、佃井委員、中野委員、浜田委員、東委員、福留委員、
榊野委員

（区役所）区長、副区長、各課長

4 主な意見

委員意見

防災スピーカーからの音声について、特に窓を閉めていると全く聞こえない場所があるということが、総合防災訓練の総括を地域で行う時に必ず苦情としてあがってくるので、改善策を検討してほしい。

【対応方針】

防災スピーカーについては、遮音性の高い住居や高層建築物の増加、騒音の影響などといったさまざまな環境によって音が聞き取りにくい状況となっています。

このため、これまで大阪市危機管理室では、市内の防災スピーカーの増設や高出力アンプ及び高性能スピーカーを採用することで、音の伝達の改善を図ってきました。

また、防災スピーカーからの放送と同じ内容について、携帯電話・スマートフォンへの緊急速報メールや、大阪市防災アプリ、Yahoo!防災速報アプリ、大阪市ライン公式アカウント、大阪市危機管理室ツイッター、おおさか防災ネット防災情報メールへ配信するとともに、テレビ局、ラジオ局へ情報提供し、あわせて広報車が地域を巡回して放送することとしています。

災害発生時には防災スピーカーだけでなく、多様な情報伝達手段を用いて災害情報を伝達することとしており、市民の皆さんに様々な方法で必要な情報が確実に伝わるよう、引き続き、情報伝達手段の多様化に努めてまいります。

住吉区においては、令和4年12月に別紙「防災情報の収集方法」の全戸配布を行っております。引き続き、上記情報の周知を行ってまいります。